地盤補修の施工状況等に関するオープンハウス及び意見交換の場における

ご意見とその対応のとりまとめ

令和７年１０月３日時点

東日本高速道路株式会社 関東支社 東京外環工事事務所

はじめに

令和２年１０月１８日、調布市東つつじケ丘２丁目付近において地表面陥没を確認、それ以降も地中に空洞が発見され、周辺にお住まいの皆さまにはご迷惑・ご心配をお掛けしておりますことを心よりお詫び申し上げます。

地盤補修の施工につきましては、令和４年１２月からプラントヤード等の整備や管路等の設置工事、家屋の解体工事をすすめ、令和５年８月から地盤補修に着手しております。また、令和７年４月２５日に地盤補修等に関する意見交換の場を、令和７年８月３０日には地盤補修の施工状況等についてご説明するオープンハウスを開催するとともに、意見交換の場を設けさせていただきました。

このたび、オープンハウス及び意見交換の場でいただいたご意見について、「ご意見とその対応」についてとりまとめましたので、お知らせいたします。

引き続き、住民の皆さまにご理解、ご協力いただけるよう、できる限り丁寧な説明を心掛けながら、住民の皆さまのご不安な気持ちを早く解消していただくため、少しでも早い地盤補修の完了に向けて家屋の解体工事や地盤補修工事を進めてまいります。

今後もオープンハウスなど、広く住民の皆さまのご意見をお聞きする機会を設けさせていただき、住民の皆さまからのご要望にできる限りお応えできるよう事情をお伺いし、丁寧な説明と誠意をもって対応してまいります。

No.	区分	ご意見	対応
1	1.地盤補修の施工計画	○オープンハウスの資料に「シールドトンネルの施工に課題があった」との記載があるが、事故の責任は発注者と受注者のどちらにあるのか。5年経つのに公表されていないのはなぜか。 ○仮移転・買取等は誰が費用負担しているのか。	○今回の陥没・空洞事故については、令和３年３月の有識者委員会において、東京外環全線の中でも特殊な地盤条件下において、特別な作業に起因するシールドトンネルの施工が、陥没・空洞事故の要因と推定され、施工に課題があったことが確認されています。 ○現時点においては、補償・補修の対応を実施しているところであり、今後、これらの対応を踏まえ、施工者との間で費用負担について協議していくものと考えています。
2		○地盤改良体の強度を確認する一軸圧縮強度試験は何本実施しているのか。	○一軸圧縮強度試験は現在までに3 本試験を実施しており、いずれも地盤改良体が必要とする強度（3MN/m2以上）を確保していることを確認しています。
3	2.地盤補修の進捗状況	○オープンハウスの資料に地盤補修工事の完了時期について記載がないが、いつ完了するのか。 ○仮移転・買取の交渉はいつまで続けるのか。打切りになることはあるのか。 ○可能な限り早く地盤補修工事を完了してほしい。	○令和6年12月に開催した地盤補修の施工状況等に関するオープンハウスにおいて、令和4年12月の準備工事着手から概ね2年程度を想定していた地盤補修工事の期間は、1年程度延長となる見込みであることをお知らせさせていただいたところであり、1日も早い地盤補修の完了を目指して工事を進めております。 ○引き続き、お住まいの皆さまへ丁寧に説明しながら仮移転・買取等をお願いするとともに、家屋解体や地盤補修について騒音や振動に配慮しながら慎重に進めてまいります。
4		○地盤補修マシンを4基投入して施工するのはいつ頃か。	○地盤補修マシンは最大で 4基を使用することを想定しておりますが、今後、家屋解体の状況に応じて使用する基数も含めた施工体制について検討してまいります。
5		○地盤補修完了後の跡地利用を気にする住民は多い。 ○自治体や住民とも相談しながら、より良い方向に向かってほしい。	○地盤補修範囲の土地の利用につきましては、地盤補修後にお住まいになる皆さま、地盤補修範囲周辺にお住まいの皆さまのご意見をお聞きし、自治体と調整しながら、検討を進めてまいります。

No.	区分	ご意見	対応
6	2.地盤補修の進捗状況	○東名側シールドトンネルの掘進再開については見通しは立っているのか。 ○北行トンネル掘進前に若葉町の資機材ヤードで調査を実施するべき。 ○北行トンネルの掘進再開時は、周辺住民への説明をしっかりと行ってほしい。	○東名側本線シールドトンネルの掘進再開については、現段階で見通せる状況にはありません。まずは、家屋補償など必要な補償を誠意を持って対応しつつ、工事により影響を受けた地盤の補修などを進めています。 ○東名側本線シールドトンネル工事の再発防止対策は、まずは、地盤の補修等を優先した上で検討を行い、今後、東京外環トンネル施工等検討委員会で審議・確認を経て周辺住民の皆さまへ丁寧に説明を行ってまいります。 ○事前に周辺住民の皆さまへご説明することなく、東名側本線シールドトンネルの掘進を再開することはございません。
7		○市道および私道の切り回し・通行止めはいつまで続くのか。	○現在（令和7年7月31日時点）の市道・私道の切り回し・通行止めの状況については「地盤補修の施工状況等に関するオープンハウスの資料【地盤補修の施工状況】（令和7年8月30日）」のP14をご覧ください。 （https://www.e-nexco.co.jp/news/cms_assets/news/2025/08/30/01.pdf#page=16） ○市道E206号線の切り回しは、9月24日（水）に現道に復旧しました。 ○市道E293号線および私道の通行止めについては、現在通行止め区間内の地盤補修を実施しています。解除時期の詳細が決まりしだい、住民の皆さまにチラシ・掲示板でお知らせします。
8		○道路に埋設されている管路や入間川分水路に近接して地盤補修を実施する際は慎重に施工してほしい。	○市道や私道における地盤補修は、事前に埋設物管理者と協議を行い、管路の埋設位置や安全対策の確認を行ったうえで、埋設物に影響を与えないように慎重に施工しています。 ○また、入間川分水路は、近接する地盤補修箇所の施工前、施工中、施工後に内部から点検を行い、異常がないことを確認しています。

No.	区分	ご意見	対応
9	3.隣接地の地盤の確認状況	○地盤の緩みが広がっていないか心配している。地盤補修が全て終わらないと地盤補修範囲周辺の調査は行わないのか。	○陥没・空洞事故の原因究明にあたり、トンネル直上のみならず、トンネル直上以外においてボーリング調査や物理探査を実施しており、トンネル直上以外では、地盤の緩みや空洞の存在は確認されませんでした。 ○さらに、入間川東側エリアの表層地盤状況について多角的な調査を実施した結果、調査対象地域の表層地盤において、トンネル掘進に伴う振動によって地盤を弱めたという事実は確認されませんでした。 ○現在、住民の皆さまのご不安な気持ちを早く解消していただくため、少しでも早い地盤補修の完了に向けて、住民の皆さまのご理解とご協力のもと、家屋の解体工事や地盤補修を優先して進めております。
10	4.振動騒音対策	○今後、地盤補修マシンを４基で同時に施工すると、騒音や振動は大きくなると思うので無理に稼働させなくていいと思う。	○住民の皆さまのご不安な気持ちを早く解消していただくため、少しでも早い地盤補修の完了に向けて、住民の皆さまのご理解とご協力のもと、家屋の解体工事や地盤補修を進めてまいります。 ○騒音規制法及び振動規制法に示す特定建設作業の規制基準（振動レベルL10:75dB 、騒音レベルLA5 :85dB）を順守したうえで、更なるご負担の低減を図るため、場所に応じた対策を実施してまいります。 ○引き続き、振動・騒音対策の効果をモニタリングし、改善を行いながら、住民の皆さまのご負担を軽減できるよう努めてまいります。
11	5.補償	○疾病補償を受ける場合の詳細な条件を教えてほしい。	○疾病等による治療費補償とは、陥没・空洞事故により健康状態が悪化し、疾病にかかったことにより生じた治療費等を補償するものであり、医師からの診断書等により陥没・空洞事故との因果関係を確認したうえで対応させていただきます。 ○ご相談がございましたら、個別に丁寧な説明をさせていただきます。外環専用フリーコールまたは相談窓口までお問い合わせください。 ※外環専用フリーコールTEL： 0120-861-305〔平日 9：00～17：30〕 ※相談窓口TEL：042-444-6879〔平日 10：00～17：00〕

No.	区分	ご意見	対応
12	5.補償	○不動産価格の下落について、不安に感じている住民がいるため、真摯に対応してほしい。	○お申し出をいただいた場合は、個別に内容やご事情を確認しながら、引き続き誠意を持って対応してまいります。 ○ご相談がございましたら、個別に丁寧な説明をさせていただきます。外環専用フリーコールまたは相談窓口までお問い合わせください。 ※外環専用フリーコールTEL： 0120-861-305〔平日 9：00～17：30〕 ※相談窓口TEL：042-444-6879〔平日 10：00～17：00〕
13	6.相談窓口・お問合せ先	○相談窓口は、夜間・休日も受付可能な日を設けてもいいのではないか。	○相談窓口の開設時間は平日10：00～17：00を基本としていますが、相談窓口のご利用をご希望される方のご事情を踏まえて丁寧に対応させていただいています。 ○相談窓口をご利用される場合は、事前予約のご協力をお願いします。 ※相談窓口TEL：042-444-6879〔平日 10：00～17：00〕
14	7.その他	○昨年、地盤補修工事の関係者を名乗る不審者が訪問してきたが、調布市にお伝えしたらすぐにパトロール強化をしてくれて、NEXCO東日本もすぐに注意喚起のポスティングをしてくれた。今年に入って激減しているが、今後も工事が続くので、同様なことがあれば相談させてほしい。 ○警備員が巡回してくれていて感謝している。 ○工事車両の通行について、場所によっては道幅が狭いところもあり、特に近くの幼稚園から出てくる子供たちもいる。地元住民にとっては交通事故など不安に思っていたが、警備員がうまく対応してくれている。引続き安全に進めてほしい。 ○住民から要望したカーブミラーを付けていただいて助かっている。 ○鹿島JVは工事を丁寧にやってくれている。 ○ゴミ拾いや雪かきをしてもらい助かる。	○引き続き、巡回員による不審者への警戒を行いますが、住民の皆さまに置かれましても、十分にご注意くださいますようお願いいたします。 ○ご自宅への訪問者が不審な場合は、自宅内へ訪問者を入れず、警察へご連絡ください。 警察へのご連絡先：最寄りの警察署　または 警視庁総合相談センター（#9110） ○引き続き、住民の皆さまの安全・安心を第一に考え、責任を持って地盤補修工事を実施してまいります。

お問合せ内容	お問合せ先
陥没・空洞事故に関する ご相談等	東日本高速道路㈱ 関東支社 東京外環工事事務所 TEL　0120－861－305 （フリーコール：平日9:00～17:30）
地盤補修工事の現場で お気づきの点があった場合	鹿島・前田・三井住友・鉄建・西武特定建設工事共同企業体 TEL03－6411－8723（24時間受付）
その他外環事業に関すること	**国土交通省　関東地方整備局　東京外かく環状国道事務所** TEL　：0120－34－1491（フリーダイヤル） 受付時間：平日　9：15～18：00 **東日本高速道路株式会社　関東支社　東京外環工事事務所** TEL　：0120－861－305（フリーコール） 受付時間：平日　9：00～17：30 **中日本高速道路株式会社　東京支社　東京工事事務所** TEL　：0120－016－285（フリーコール） 受付時間：平日　9：00～17：30